

## ご利用になる前に必ずお読みください

このPDFファイルの内容についてのご質問・お問い合わせは株式会社アスキー・メディアワークスでは一切お受けできません。ご自身の責任においてご利用ください。



この作品は、クリエイティブ・コモンズの表示-非営利-継承 2.1 日本ライセンスの下でライセンスされています。この使用許諾条件を見るには、<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/>をチェックするか、クリエイティブ・コモンズに郵便にてお問い合わせください。住所は：171 Second Street, Suite 300, San Francisco, California 94105, USA です。

このファイルをクリエイティブ・コモンズの表示-非営利-継承 2.1 日本ライセンスに基づいて利用する際には、下記クレジットを必ず作品や配布物に表示する必要があります。

クレジット：

- 文/吉田史 (Ubuntu Japanese Team)
- デザイン/シオズミタロウ
- 初出/株式会社アスキー・メディアワークス「Ubuntu Magazine Japan vol.03」  
(<http://ubuntu.asciimw.jp/>) 2010年2月23日発行

# 今度のUbuntuは長期サポート版!!

# 10.04 LTS

## アーリープレビュー

Lucid Lynx



10.04のリリースは4月29日に行われるので、この記事は開発版や新機能の仕様ページ・開発中の議論などをベースにしています。現在、開発者たちが一生懸命作っている最中で、ここで紹介された新機能はなくなったり、大幅に変わる可能性もあります。

2年に1度のお祭り! 長期サポート版のUbuntuがやってくる!! マーク・シャトルワースも開発面に専念するほど力が入った(?), 超期待のリリースなのだ!!

## 8.04 LTSから直接アップグレードも!



▲LTSから次のLTSへは直接アップグレードできるのだ。

今度のUbuntu 10.04 LTS (開発コード「Lucid Lynx」)は、6・06 LTS、8・04 LTSに続く、3度目のLTS (Long Term Support) となる。セキュリティアップデートが提供される期限は、通常のUbuntuでは1年半だが、LTSではこれが延長されてデスクトップ環境は3年間、サーバ

気に入ったら  
末永く使える!!

Ubuntu 10.04 LTS  
Lucid Lynx

### POINT 01

3度目のLTS!  
3年間使える  
Ubuntuだ!

## Ubuntuのバージョンとサポート期間

コードネーム	バージョン	リリース日	サポート期間
Lucid Lynx	10.04 LTS	2010年4月29日	2013年4月 (デスクトップ) 2015年4月 (サーバ)
Karmic Koala	9.10	2009年10月29日	2011年4月
Jaunty Jackalope	9.04	2009年4月23日	2010年10月
Intrepid Ibex	8.10	2008年10月30日	2010年4月
Hardy Heron	8.04 LTS	2008年4月24日	2011年4月 (デスクトップ) 2013年4月 (サーバ)
Dapper Drake	6.06 LTS	2006年6月1日	2009年6月 (デスクトップ) / サポート終了 2011年6月 (サーバ)

環境が5年間、一度気に入ったら長い間使い続けることができる (KubuntuやNetbook Editionなどはサポート期間が異なることもある)。  
特に「10.04の完成度を上げるために先に9.04や9.10に搭載」といった開発計画がいくつもあつたため、機能も完成度もかなりのものになるはずだ。逆に、驚異の新機能のものも入らないので「9.04・9.10のブラッシュアップ版」という認識がいいだろう。

## 10.04 LTSのリリーススケジュール

2月25日	アルファ3リリース
3月4日	ユーザインタフェース確定
3月11日	カーネルの確定
3月18日	ベータ1リリース
3月25日	各種ドキュメント確定
4月8日	ベータ2リリース
4月15日	最終仕様確定、Language Pack以外の翻訳メチ
4月22日	RC版リリース、Language Pack翻訳メチ
4月29日	Ubuntu 10.04 LTS リリース!!

通常のUbuntuは「アルファ4回+ベータ1回+リリース候補版1回」でリリース版に辿り着くが、10.04では「アルファ3回+ベータ2回+リリース候補版1回」というやり方になる。ベータ版には「予定のほぼ全ての機能」がUbuntuでは搭載されるので、いつもなら最終アルファというタイミングから長期間テストが行われることになるのだ。

10.04はリリース体制も  
これまでとは違う!!

Ubuntu 10.04 LTS  
Lucid Lynx

### POINT 02

ベータ版が  
なんと2回も  
リリースされる  
手堅さも魅力

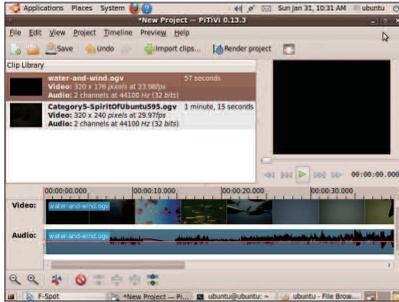
Ubuntu 10.04 LTS Early Preview

Ubuntu 10.04 LTS  
Lucid Lynx  
**POINT 03**  
さよなら  
**GIMP**  
来るのは  
**PiTiVi**

**手軽なビデオ編集アプリ  
が標準に仲間入り!**

10.04では、いくつかが標準アプリに変更が入る。最大のもは「ビデオ編集アプリであるPiTiViが入る」ことだ。PiTiViは本格的な編集には向かないが、ムービーカメラで撮影した動画をつないで、音楽を付けてネットに公開、といった気軽な編集にはぴったりの、カンタンな操作が特徴のソフトだ。

**PiTiVi**

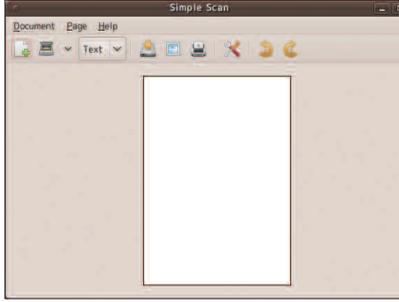


■インストール直後からちょっとした動画編集を楽しめる。YouTubeやニコニコ動画などに動画をアップロード、なんてことも気軽になりそう。

一方で、フォトレッタッチソフトであるGIMPは「初心者には難しい」。「GIMPはPhotoShopに相当するプロ向けアプリ」という発想から、OSインストール時点では含まれなくなる。もちろん後からソフトウエア・センターやSynapticなどからインストール可能なので、GIMPを使いたい場合はちょっとだけ操作が必要になる。

代わりに、デジカメ画像管理ソフトである「F-Spot」に簡易フォトレッタッチ機能が搭載され、ちょっとした画像の修正等は画像を整理しながらできるようになる予定だ。またこれ以外にも、「Simple Scan」という「スキヤナを使って図版を取り込む」ことに特化したアプリや、ゲームソフトウェアの見直しなど、CDに収められる標準アプリの選定がやり直される予定となっている。

**SimpleScan**



■XSaneは設定がやや複雑なので、簡単に使えるシンプルなスキャンプログラムは喜ばれそう。

Ubuntu 10.04 LTS  
Lucid Lynx  
**POINT 04**  
起動時間  
短縮の  
総仕上げ!

**すでに20秒で起動!  
どこまで短縮が注目!**

9.04、9.10、10.04の3つのリリースにわたって行われる予定だったUbuntuの起動時間の短縮だが、ついに10.04で完了する見込みだ。2008年末(9.04の開発時点)では「10.04では、ネットブックのDell Inspiron Mini 9で10秒で起動するように」が目標になっていたが、9.10のリリース直前でデスクトップの起動まで19秒、そこからログインしてブラウザを起動するまでに28秒、というレベルまで短縮された。10.04では、ターゲットマシンをInspiron Mini 10vのSSDモデルに変更し、「ブラウザを起動するまで10秒」を目標に起動時間の短縮が行われる予定だ(Mini 9はSSD搭載だったため対象モデルが変わった影響はほとんどない)。

起動処理のフェーズごとに目標タイムがあり、全フェーズで達成できれば10秒での起動が可能になる見込みだ。ちなみに、初期段階の28秒から、1月中旬で20秒を切り、すでに8秒強の短縮が達成されている。

Ubuntu 10.04 LTS  
Lucid Lynx  
**POINT 05**  
Firefox  
だけは、いつも  
ピカピカの  
最新版に!

**Firefoxの  
パッケージ方式の変更**

Ubuntuに含まれるソフトウェアは「リリース時のものから更新されず、バグフィックスやセキュリティアップデートだけが適用される」というのがこれまでの基本だった。が、10.04から、Firefoxに関してだけはこの法則が適用されなくなる。10.04のリリース版ではFirefox 3.6が導入されて出荷されるが、3.7や4.0のバージョンアップ版がMozilla.orgからリリースされた場合、UbuntuのFirefoxもそれらのバージョンに更新される。

**セキュリティ  
面でも安心**

■主な理由は「Firefox本家のセキュリティアップデートが古いバージョンには提供されないのが、独自にメンテナンスするコストが大きい」からだがユーザーとしてうれしい仕様。

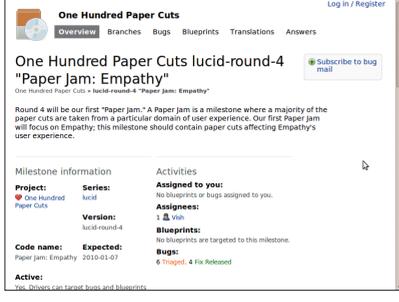


Ubuntu 10.04 LTS  
Lucid Lynx  
**POINT 06**  
Hundred  
Papercutsも  
引き続き  
実施中!

**細かい使い勝手が  
ますますアップする**

10.04の今回も、9.10で修正が間に合わなかったものを含め、100個程度の「Papercuts」の修正を目指す。さらに10.04では各種アプリごとに「Paper Jam」(紙詰まり)という小プロジェクトに別れ、Rhythmbox、Totem、CompizやEmpathyなど、テーマごとに徹底的な見直しが行われる予定だ。

**ささいなきずも修正!**



■9.10ではなんと120個が候補になり、76個のPapercutsが修正されていたのだ。

Ubuntu 10.04 LTS Lucid Lynx  
**POINT 07**  
Remixから『Netbook Edition』に昇格だっ!

デスクトップとサーバに  
続く第3のディメンション

「ネットブック向けUbuntu」であるNetbook Remixは、10.04から「Netbook Edition (ネットブック・エディション)」としてリリースされることになった。Ubuntuでは「Edition」は「UbuntuチームやCanonical社が公式にサポートしているもの」という意味で使われる単語だ。言い換えると、「DesktopやServerと同じ扱いの、第二のリリース形態」となったことを意味する。これまでの「Remix」は「Ubuntuに含まれるものをベースに、中身を組み替えたもの」程度の意味のもので、こちらは公式・非公式を含めて大量に存在するものだ。

「Netbook Edition」に昇格する「Ubuntu」の投入やOEMビジネスへの展開など、10.04以降の機能強化が期待できる。特に、CPUとしてARMを搭載した、低価格・かつ長バツテリ寿命のスマートブックなどに採用される可能性も高く、色々なところで見かけられるようになるだろう。

10.04のNetbook Editionの強

化の多くはスマートブックやAtom Zシリーズのような、「非力な環境でも快適に使える」ことを目指したものだ。ARMもAtom Zもデスクトップ向けCPUに比べると非常に非力なので、軽量版ネットブック・ランチャ(2D表示オンリーの特にAtom Zのようなグラフィック表示が遅いマシンで有効なランチャ)が準備されることになっている。同様にLive eCD (Live USB) 環境についても、動作に必要なファイルのチューニングによりスピードアップが行われる予定となっている。

特にARM版Netbook Remixについては、Canonicalが力を入れて色々なハードウェアベンダと交渉しているらしい。さらに言えば、今話題の「Chrome OS」のコア部分は実はUbuntuとほとんど同じなので、「Chrome OSが動くマシンならUbuntu Netbook Editionが動く」なんて状態になりそう。ドライバ対応もかなりのレベルが期待できる。色んなブームともリンクして、日本国内でも10.04を搭載したものが出てくるかもしれない。期待して待つていよう。

Chrome OSとは兄弟!?



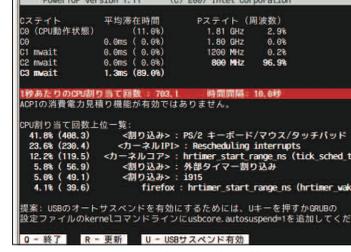
同じUbuntuから生まれた兄弟が、ネットブック界を制する日も近い?

Ubuntu 10.04 LTS Lucid Lynx  
**POINT 08**  
ノートPCのバッテリー管理が改善される

これまでよりバッテリー駆動時間が長くなる!!

10.04では、ノートPCのバッテリー稼働時間がこれまでのものよりも良くなる予定だ。これまでのUbuntuでも「pm-utils」という省電力ユーティリティが自動的に動作していたが、この設定を徹底的に追い詰めたものが導入されるはずだ。なおこれまでに「pm-utils」とセットで含まれていた「laptop-mode-tools」パッケージは除去され、全面的にpm-utilsを利用する形式になる。ちなみに具体的な内容は公開されていないが「OEMチームからの要望でチューニングを加えた」なんて記述もあるぞ。

省電力設定が手軽に



今まで「powertop」で自力で行っていたチューニングが不要になるかも!

Ubuntu 10.04 LTS Lucid Lynx  
**POINT 09**  
ハードウェア・ドライバがプラグアンドプレイに対応

OSインストール時にドライバも導入!?

無線LANやNVIDIA/ATIのGPUなどを使っている場合、「システム」・「システム管理」・「ハードウェア・ドライバ」からプロプライエタリなドライバ(制限付きドライバ)をインストール……というのはよくある操作だ。10.04では、「新しく装着されたハードウェアに応じて、インストール画面が自動的に起動」という機能が搭載される。たとえばUSB無線LANアダプタを装着すると、その場で「ハードウェア・ドライバ」のウィンドウが起動されそのまま必要なドライバをインストール……なんてことが可能になる。

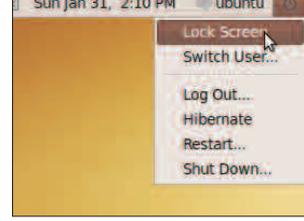
また、インストールに使われる「Ubiquity」から「ハードウェア・ドライバ」が呼び出され、OSインストールを行う時点でハードウェア・ドライバを導入できるようなにする、という計画も存在している。今のところ目立った動きは報告されていないものの、実現すると「ハードウェア・ドライバ」必須のデバイスがカンタンにインストールできるようになるのだ。

Ubuntu 10.04 LTS Lucid Lynx  
**POINT 10**  
いろんなアプリがバージョンアップ!!

搭載される各種アプリも機能アップ!

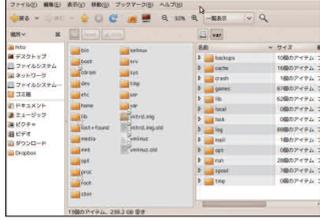
Firefox 3.6を筆頭に各種ソフトも新しいバージョンになる。たとえば、ブラウザのNauticus上で「F3」キーを押すと、右側のファイル一覧を複数表示(エクストラペイン)できるようになったりなど、機能が増えてお目見えしそうだ。

シャットダウン



電源操作を行うアプレットが新たに作り直され、電源回りの操作がスムーズにシステムに反映されるようになる。

エクストラペイン機能



Nautilusで、複数のディレクトリ間でファイルをコピーするのが劇的にラクに!

# 10.04 LTSアーリープレビュー



## ARM用に Chromium が!

Google Chromeのオープンソース版をベースにした軽量ブラウザが準備されるぞ!

ARMアーキテクチャのシステムチップとして、1GHzを超える高速動作の高性能デュアルコアCPUがリリースされ、台湾を中心としたベンダからARMを利用した「スマートブック」や「スマートトップ」(ネットトップのARM搭載版)などのリリースが予定されている。ARMではWindowsは動かないためARMサポートを強化したUbuntuの採用が期待される。

## スマートブックは Ubuntu が制覇!?

Ubuntu 10.04 LTS Lucid Lynx  
**POINT 11**  
ARM向けサポートをさらに強化!!

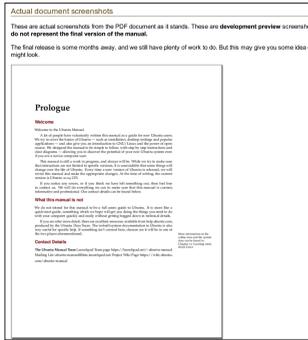
また、LTSは3年・5年のサポート期間を持つているとはいえず、デスクトップ向け、サーバ向け、それ以外のパッケージでサポート期間がまったく異なる、という問題もあった。これらを見極めて「サポートが切れてしまったパッケージ」を検出してくれる通知システムも搭載されるはずだ。

システム全体として「安心して使える」ようにする改良もある。「Boot Recovery」は、初心者でも「起動できない」トラブルを解決できるようになる新しいリカバリモードだ。これまでのリカバリモードはテキスト表示だけの上、「全自動でとにかく直す」ような機能が搭載されていなかった。結果として、ファイルシステムが壊れて「fsck」が必要な場合などは、初心者には何をしてもいいのかわからない、という結果を招いていた。今回からはそうした「何も知らなくても起動可能にできる」ためのオプションとして「Boot Recovery」が搭載される。これは、「明らかにおかしい状態になっているところを片っ端から直す」というものだ。

ソフトウェアアソースを「/etc/apt/sources.list」は、Ubuntuのパッケージシステムを支える重要なファイルだ。10.04では「間違いらしいもの」を検出して修正したり、「壊れてしまった」といった提案を行う機能が追加される予定だ。また、「Ubuntu Manual」という初心者のためのマニュアルがPDF形式&自由なライセンスの下で提供される予定だ。

## 初心者でも安心 全自動で直す機能を追加

Ubuntu 10.04 LTS Lucid Lynx  
**POINT 12**  
さらに安心して使える リカバリモード



## マニュアルも できるぞ!

Ubuntu Manualのひな形。新バージョンのリリース日に新バージョンにあわせて内容で公開になるそう。

AMD (ATI) のドライバがプロプライエタリとオープンソース版から選べるのとは対照的にプロプライエタリを使うのが常識だったNVIDIA。が、10.04からは「Nouveau (ヌーボウ)」というオープンソース実装のドライバが準備され、利用できるようになる。各種NVIDIAのチップをもとに、挙動を推測して作られるので機能は劣るが、ドライバのインストールなしで利用できるあたりは価値が高いだろう。X関連では、もうひとつ朗報。X関連でエラーが出た場合、これまでのUbuntuでは「var/log/Xorg.0.log」を見て「E」といった行を探して原因を追究、などと、自力でトラブルシューティングを行う必要があったが、ログの確認などをシステム側で自動的にを行い、どのようなエラーが生じているかをアドバイスする機能が搭載される予定なのだ。難しい機能で、どの程度の完成度になるかは実際に出てこないといけないが、うまく機能してくれるとうれしい機能になるはずだ。

## ソフトウェアアソースを 守って、より安心に!

Ubuntu 10.04 LTS Lucid Lynx  
**POINT 13**  
sources.list の自動修復と Ubuntu のマニュアル配布

高速&最新機能採用のカーネルとGNOME

Ubuntu 10.04を支えるコアのテクノロジは、Linuxカーネル2.6.32とGNOME2.30(予定)だ。カーネル2.6.32は「高速化」を重視したリリースで、ど派手な新機能こそないものの、サクサク動くはずだ。GNOME2.30には「GNOME Activity Journal」という「最近使ったファイル」の強化版が搭載され、「昨日触ったあのファイルどこにやったっけ?」とか、「1週間前にデジカメで撮った画像をコピーしたけど見つからない」といった場合に大きな力を発揮してくれるはずだ。

GNOME Activity Journal

## NVIDIAの オープンなドライバが!

Ubuntu 10.04 LTS Lucid Lynx  
**POINT 14**  
Nouveau ドライバと Xエラーの 自動認識

GNOME Activity Journal

時系列表示は名前も中身も思い出せないファイルを探すのに便利。

高速&最新機能採用のカーネルとGNOME

Ubuntu 10.04を支えるコアのテクノロジは、Linuxカーネル2.6.32とGNOME2.30(予定)だ。カーネル2.6.32は「高速化」を重視したリリースで、ど派手な新機能こそないものの、サクサク動くはずだ。GNOME2.30には「GNOME Activity Journal」という「最近使ったファイル」の強化版が搭載され、「昨日触ったあのファイルどこにやったっけ?」とか、「1週間前にデジカメで撮った画像をコピーしたけど見つからない」といった場合に大きな力を発揮してくれるはずだ。

## 高速&最新機能採用のカーネルとGNOME

Ubuntu 10.04 LTS Lucid Lynx  
**POINT 15**  
2.6.32 カーネルと最新GNOME の採用